



### 見事なチームワークだ ゲートボールで県優勝

第60回岩手県民体育大会ゲートボール競技に出場した町ゲートボール協会（土谷育造会長）は、町村対抗の部で見事に昨年に続いて総合優勝を果たしました。

大会は64歳以下と65歳以上で競われ、総合成績で県のトップに。笹川昭治さん（茶屋場）は「はらはらした場面もあったが、練習の成果が発揮できた」と、2部門とも2位での総合優勝を喜びます。

チームは、7月26日と27日に山形県天童市で行われる東北大会へ出場が決定。「今度は東北制覇を！」と、町のゲートボール場には、活気あふれる声が響いています。



町村対抗の部で県総合優勝を果たした町ゲートボール協会の選手の皆さん



昭和38年、現在地に移転するまで江刈小「一本松」校舎があった場所。一本松前に児童や地区民らが集合

### まだまだ元気だ一本松 江刈小で親しむ会開催

江刈小学校（成田不美校長・児童38人）は6月7日、児童のほかPTAや地区の人たちが参加して「一本松に親しむ会」を開きました。

春から一本松の絵を描いたり、俳句を詠むなどしてきた児童らは松の下に集合し、校長先生の一本松にまつわる話に耳を傾けました。続いて各学年の代表が俳句を発表。「おかしから みんなを見ている 一本松」と3年の澤望怜さんは、思いを詠みました。一本松は、学校近くの国道340号沿いにそびえる樹齢300年以上の町指定文化財。安全管理の問題から伐採も検討されましたが、樹木医の診断を受け、まだまだ元気と判明。これからは松の下を通学する江刈小児童をやさしく見守ります。

### 県高総体陸上競技

## 上野智幸さん2冠

（盛岡工高3年・四日市）

上野智幸さん（盛岡工業高校3年・四日市）は、5月に行われた県高校総合体育大会陸上競技の800メートルと1500メートルの2種目優勝の快挙を成し遂げました。

初日の23日に1500メートルで優勝した上野さんは、前日の疲れが回復しないまま臨んだ2日目の800メートルでも、2位に100分の7秒差で優勝のゴールへ。「今後につながる大事なレースだからがんばりました」と声を弾ませました。インターハイを目指して出場した東北高校総合体育大会では、アクシデントによる転倒で、悔しい思いをしました。「7月後半の県民体育大会で結果を残して国体に出場したい」と、目下練習を積み重ねています。

上野さんは、一関学院で長距離選手として活躍する久保勇介選手とともに、平成17年県中学校駅伝大会で葛巻中学校が堂々5位入賞したメンバーの一人。「久保君に負けたくないという気持ちで頑張れる。秋の全国高校駅伝に、王者一関学院を抑えて出場したい」と意気込みを語りました。

陸上競技での町民の県優勝は平成14年、盛岡第一高校で400メートルと800メートル障害2種目優勝の高宮利加子さん以来の快挙で、町内は喜びに沸いています。



県高総体の陸上競技1部男子800メートル決勝競り合いを制し1分57秒53で優勝した盛岡工の上野智幸選手（写真左）＝写真提供・岩手日報社＝

### 大きな感動ありがとう 葛巻高校で芸術鑑賞会

葛巻高校（小野寺一校長・生徒168人）は6月17日、芸術鑑賞会を開催しました。

鑑賞会は、期末試験明けのこの時期に毎年開催。町内の三中学校の全校生徒も招かれ、今年は東京の劇団「アルファー」を招いて演劇を鑑賞。親子、家族や友達のきずなを訴えた『メッセージ 時代を駆けぬけて』で、たった一言の「ありがとう」を勇気を出して伝えようと語り掛ける場面では、生徒らは静かに聞き入りました。葛巻高2年の大石裕美さんは「人を思いやる心と、大きな感動をありがとう」とお礼を述べ、生の舞台に感激した様子でした。



生の演劇の迫力に感激のこぼれを述べる生徒

### 子どもの図書購入にと 二戸信金職員らが寄付

二戸信用金庫従業員組合（久保田剛州・執行委員長）は6月10日、子どもの図書購入費として10万円を町に寄付しました。

寄付は、盛岡信用金庫と7月7日の合併を前に、同組合の活動を記憶に残そうという思いから組合管内の市町村に贈ったもの。町役場を訪れた土川育雄さんは、「将来を担う子どもたちの健全育成に役立ててください」と思いを込めました。鈴木重男町長は「夢を持って挑戦する子どもたちのために、大切にさせていただきまます」とやさしく、温かい気持ちに感謝しました。



鈴木重男町長に寄付を手渡す二戸信用金庫の土川育雄さん